



さくくら RA



5月 2017

発行/ボーイスカウト世田谷第5団広報部

4月2日 上進式 ビーバー隊

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

いよいよ新年度の始まりです。今年は3名がカブ隊に上進しました。そして、多くの方に参加いただいた3月の入団説明会から早速2名のスカウトが入隊してくれました。私としても初めての隊長としての上進式、段取りを一部間違えてしまい、カブ隊土屋隊長にサポートいただき何とが無事に済ませることができました。ビックビーバーになった5名のスカウトのみんな！そして新入隊のスカウトのみんな！そして副長や保護者の方々！これから1年間引き続き宜しくお願いします。楽しくやってみましょう！



カブ隊

副長 河西 淳

今年も上進式の日を迎えました。

カブのリーダーを始めて12年になりますが、毎年、上進式は特別な思いがあります。1年間、組長や次長を勤めたくまが卒業していきます。片や、新しい組長、次長が決まります。また、あどけないりすも入ってきます。それと、1年前、2年前にカブを卒業していったスカウト達の立派なBS隊員姿も見れるし、自分がDLだった時のうさぎがローバー隊に上進する姿なんかも見れます。その頃より身長が倍ぐらいになっていたりして、実に感慨深いものがあります。リーダーを続けていて良かったと思う1年に1度の節目です。みんなを眺めて、大きくなったとか、立派になったとか、カブではいつもチョロチョロしていた子がしっかり落ち着いていたり。

でもその一方で、そんなみんなからは『河西さん、老けたな』とか、『太ったな』とか思われているんでしょうね。それはちょっとつらい1日でもあります。それはともかく、また来年のこの日に、カブ隊から立派なBS隊員を送り出せるよう、今年もがんばろうと思います。

1 組くま

僕は組長になれてよかったです。組旗やイエローパーなどをもって実感がわきました。これからは責任をもってがんばります。

2 組くま

新しい仲間がふえてよかったです。今年組長として、2組を引っばってみたいです。



カブ隊、今年も歩くぞ！

カブ隊長 土屋彰男

29年度カブ隊活動の3つのポイント

- 1 「よい心」を育てる
- 2 「自然体験」を積む
- 3 「集団行動の経験」を積む

1 「よい心」を育てる

スカウト運動は教育活動です。

教育の成果は人としてどのくらい成長したかにあります。それをみるのに次の三つの面がよく言われます。<知体徳>この三つがバランスよく発達しないといけませんね。知と体はわかりやすい。徳とは何かちょっとわかりにくい。

知と体がいくら優れていても徳が乏しいと→尊敬されることがないということでしょうか。

徳は、こども向きには、「よい心」を持つと言った方がわかりやすいかと思えます。

「よい心」とは素直な心、助け合う心、いたわる心、進んでよいことをする心です。どこかで聞いたような。そうです「カブ隊のさだめ」の中にあるのです。

「カブ隊の定め」がわからない方はカブ以上のスカウトに聞いてください。五つの定めをしっかりと暗記しているはずですよ。

言葉として暗記しているだけでなく日々の行動がそうなるように隊活動の時間は短いですが常に念頭に置いて活動するよう指導者一同心がけています。(反対の方向 ずるをする弱いものいじめる嘘を言う には厳しく対処します。)

2 「自然体験」を積む

子供時代に自然体験を多く積むことの有用さが昨今とりあげられています。

ところがここ世田谷大都会の中で学校塾習い事スポーツ教室と大忙しです。

教室とグラウンドと部屋の中の生活偏差値と試合・練習・発表会とゲーム機に没頭することから離れて自然と親しむ。

カブ隊は29年度も野外での活動を中心にプログラムを展開します。

自然観察ハイク、大山登山、多摩川ハイク 室内でいかだを作る→川で流す 室内でたこを作る→河川敷で上げる などなど

3 「集団行動の経験」を積む

長くなるのを避けて

カブ隊、今年も歩くぞ！ 終わり

本年度もどうぞよろしくをお願いします

(保護者兄弟姉妹の見学参加は大歓迎です。是非一緒に野山を歩きましょう。)



ビーバー隊

4月23日 宝来公園自然観察

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

近場のハイクと春の生き物観察を兼ねて宝来公園に行きました。昨年5月末に行った時にはとくにいなかったオタマジャクシ探しも兼ねてです。今回は見学も含めて12名の子供たちが参加してくれて、リーダーも嬉しい悲鳴です。出発前にみんなで自己紹介。みんなしっかり自己紹介できていてちょっとびっくりしました！

九品仏出発で歩いて移動していきますが、途中のぼかぼか広場まではカブ隊も一緒の大移動となりました。今日の課題として、生き物を見つけたら隊長に申告してレア度に応じてポイント付与をしました。モンシロチョウ、タンポポなど、色んな生き物を見つけられました。

公園に着いたらお絵かきです。いるはずのオタマジャクシは何と池の水が抜かれていていない！つくづくご縁がありません。気を取り直してお絵かき開始！めいめいに絵を書いたら皆の前で発表です。みんな素敵な絵をしっかりと説明してくれました。

その後は来月のビーバーラリーでもやるフリスビーの練習を兼ねたゲーム。見学のお母さんの中に何と学生時代のフリスビー全日本選手権優勝の方がいらっしや、急遽臨時コーチをお願いしました。さすがに私たち素人では分からないコツを教えてください、みんなしっかり上達！ありがとうございました。

解散の九品仏では生き物ポイントをめいめい発表しました。すっかり春になり、今日見れなかった生き物もたくさんいます。色々見つけてみましょう！



カブ隊

4月23日 隊集会 基本動作

副長 河西 淳

新体制となって初めての集会は、毎年、「基本動作」の訓練です。九品仏交番裏から少し歩いてぼかぼか広場で行いました。

まずは『気を付け』『休め』『右向け右』『廻れ右』等の基本中の基本のマスターです。毎年やっているのですが、目をつぶったまま、『右向け右』『廻れ右』『左向け左』と連続させると、一人、二人はあさっての方向を向いて笑わせてくれます。これは企画担当者の毎年のひそかな楽しみです。

それらをマスターしたうえで、いよいよ『集合』『報告』の訓練を行いました。『U字での集合』『円形での集合』『縦での集合』

きれいにできるまで何回も繰り返しました。最初はへしゃげたV字や彗星の軌道のようなだ円が、回を重ねるごとにきれいに、素早く集まれるようになりました。

訓練ばかりでは飽きてしまうので、途中で『きつねのしっぽ』大会。1、2、3組総当たりの結果、3組とも1勝1敗となったため、最後は3組同時対戦のバトルロワイヤル方式で2組が圧勝でした。

その後、訓練再開。全体での集合、報告の仕上げをした後に、組に分かれて新人DLを中心に組集会の進め方の練習、最後は正し『なかよしの輪』のやり方を習得して、ぼかぼか広場から九品仏公園裏まで帰りました。

そこで今日の総仕上げとして、『集合』、『報告』、朝のダラダラとは打って変わってピシッと決まりました。

最後は正調『なかよしの輪』、"〇組！いつもげ〜ん〜〜きっ！"ぴよーん、ときれいに決まりました。

次回の集会の時に憶えていてくれるかどうかが問題です。

2組DL 秋山真一

入隊式／上進式後の最初の活動は基本動作の訓練です。ぼかぼか広場で集合・整列の形を何回も繰り返しました。回数を重ねる度に列が揃うまでの時間が短くなり、最後はカブ隊らしくピシッと集合できるようになりました。

途中、組対抗のキツネのしっぽ取りをしました。総当たりでどの組も1勝1敗。最後は全組での対決です。我々が1組は欠席者がいたため体験の子を入れても人数が少なく、残念ながら全滅してしまいました。次は負けないぞ!!

日差しが強く、かなり日焼けしてしまいました。スカウトたちはともかく、大人はこれからの季節は日焼け対策が必用ですね。

3組くま

今回組長になって初めての活動で基礎の練習でした。入ってきたばかりの人達の、手本になれる組長になりたいです。

2組くま

カブ隊では、色々な活動をしています。その活動は、どれも楽しいです!!

今日は、整列など基本の練習をしました。



ボーイ隊

4/16 野外炊事訓練 @野毛町公園デイキャンプ場

BS隊 トナカイ班

僕たちトナカイ班は今回の野外訓練クッキングコンテストで、ナスとピーマンと豚肉の味噌炒めを作りました。

工夫したところは、野菜の切り方と味付けです。ナス、ピーマン、ニラ、人参を同じように細長く切りました。味付けは甘めの味噌としょうゆで仕上げました。苦労した事は、火加減の調節が難しく、飯盒を少しこがしてしまっただけと、ご飯が硬めになってしまった事です。ですが、家で少し料理の練習をしていったことで、班の仲間とも上手く役割分担して手際良く作る事ができ、優勝する事ができて嬉しかったです。



BS隊 オットセイ班

今年の野外炊事訓練はとてもおいしかったです。オットセイ班は焼きそばを作りました。こんなに簡単にできるとは知りませんでした。今度は家で作ってみようと思います。次回 何を作るか楽しみになってきました。



BS隊 カモメ班

ぼくは、班キャンプの時もカレーうどんがあって、ぼく的にはそのカレーうどんがあまり美味しくなく感じてしまったので、この炊事訓練ではカレーうどんをおいしくつくりたいと思っていました。

つくる時間がいちばん遅かったけど、おいしくできたのでよかったです。シーザーサラダでは、けっこう残ってしまったので、残飯処理でぼくが全部食べることになりました。シーザーサラダのドレッシングが多すぎて、気持ち悪くなってしまいました。次からは、キャンプなどで美味しく早くつくれるようになりたいです。



ローバー隊

RS隊　隊長　渡口要

シャーロック・ホームズ

　　B-Pとシャーロック・ホームズ、そしてアインシュタイン　—観察と推論—
（第3回/全8回）

　　ひとつ予言をしましょう。今年2017年のノーベル物理学賞は「重力波の直接観測」に対して与えられます。さあ、10月の発表をお楽しみに！

（つづき）

シャーロック・ホームズ

5. 「はかる」ことによって「みる」

シャーロック・ホームズ

　　さてここで、観測の中身について触れたいと思います。ニュートンの時代、観測によって観る対象は「光」でした。あるいは光「によって」月や土星を観ていました。スカウトの皆が眼を使って普通に世界を見るためには光が必要ですね？ 真っ暗だと何も見えません。つまり人間は眼を使って光を見ている、あるいは光によって世界を見ているのです。そのとき人間の眼は、外の世界から入ってくる光を適切に処理するレンズとしての役割をこなしています。これはニュートンの時代の望遠鏡と同じです。あるいはカメラも同様です。正確に言えば、光の中でも「可視光」と呼ばれる種類の光を処理するためのレンズ機能が、人間の眼や望遠鏡やカメラには備わっています。可視光とは、簡単に言えば人間が視ることが可能な光のことです。大雑把に言って虹の7色のことだと思ってもらえれば良いです。B-Pが想定した「見る」も、当然眼を使った可視光によるものでした。

シャーロック・ホームズ

　　ところが人間以外の動物の中には、人間にとっての可視光以外の光を視ることが出来るものたちがいます。その代表例は、マムシなどの一部のヘビです。マムシは、人間には視えない赤外線を視ることを可能にするピット器官を持っています。赤外線は字から分かる通り、虹の7色で言うところの赤色のさらに外側にある光です。赤外線を視ることが出来ると、温度を「色」として視ることが出来ます。ジョン・マクティアナン監督の『プレデター』や、最近ではコリン・トレヴオロウ監督の『ジュラシック・ワールド』などの映画で、ピット器官あるいはそれと類似の器官を持っていると思しきプレデターやT-REXから姿を隠すために、主人公が泥水やガソリンで身体を冷やす映画ではおなじみのシーンが出てきます。主人公の敵である彼らは、赤外線あるいは温度によって主人公を視ようとするのです。

シャーロック・ホームズ

　　他方で人間の方も20世紀の科学の進歩のおかげで、可視光以外の光によって対象を視ることが出来るようになってきました。例えばサーモグラフィは蛇のピット器官と同じ機能を持っています。サーモグラフィで人間を視ると、温度が高いところが赤く、逆に低いところは青くなります。テレビなどでおなじみですね。あるいは医療の世界にはレントゲン（X線撮影）があります。レントゲンはX線という特殊な光によって撮

影する方法のことを言います。赤外線と逆側、虹の7色で言うと紫色のさらに外側にある光を紫外線と言いますが、その紫外線よりもさらに外側にある光がX線で、もちろん可視光ではありません。X線はヴィルヘルム・レントゲンによって1895年に発見されました。X線は可視光に比べて透過性が高いため、可視光を通さないような厚い壁もすり抜けてしまいます。この性質のため、X線を使うと人間の身体の中をすり抜けて撮影出来るので、身体の中を調べることが出来るのです。レントゲンはこの発見によって1901年に第1回ノーベル物理学賞を受賞しています。

シャーロック・ホームズ

　　ここまで紹介したのは、可視光だったり赤外線だったりX線だったりしたものの、全て光によって対象を観察する方法でした。しかし、動物の中には光以外で対象を「視ている」と表現したくなるようなものたちもいます。例えばこうもりは、人間には聞こえない超音波を発します（赤外線やX線は人間には視えない光でしたが、その音バージョンです）。そしてその超音波が周囲で反射して返ってくるのを聴くことで、かなり正確に周囲の様子を知ることが出来ます。音なのでから「視る」ではなく「聴く」なのですが、人間が耳から得る情報に比べてはるかに精確に虫の位置などを知ることが出来るため、音（超音波）によって世界を「視ている」と言いたくなるわけです。

シャーロック・ホームズ

　　ここで、視る行為によって人間が何をやっているのかについて考えてみましょう。実際に自分が眼で視て得る情報のことを考えると、それは物がどこにあるかとか、大きさはどれくらいかだとか、何色をしているかだとか、どんな表情をしているかとかいったことだと分かります。そして実は、これらは全て何かを測ることで得ている情報だということも分かります。何を測っているのか？ それは距離だったり、方向だったり、長さだったりします。色はどうでしょうか？ 色は光の波長と呼ばれるある種の長さによって決まるので、やはり眼で長さを測っていることになります（実は、赤外線は波長が可視光よりも長い光、紫外線やX線は波長が可視光よりも短い光なのです）。表情はどうでしょうか？ これも眼や口などの位置や角度の変化や頬の紅潮などから、相手が怒っているのか悲しんでいるのか喜んでいるのかを読み取っていると考えれば、やはり位置や角度や色（の波長）を測っていると言えるのです。

シャーロック・ホームズ

　　このように考えると「こうもりは音によって世界を視ている」という表現にももっと実質的な意味が与えられます。1つには、音もまた色と同じく波長と呼ばれるある種の長さを持っているので、耳で音を聴くという行為も実は長さを「測っている」ということになる。この「音の長さ」は、音の「周波数」とか「オクターブ」とか「音程」とか「音階」といった言葉で示されるものです。そして2つめに、こうもりはそのような音の測定によって、餌である虫の位置（距離や方向）を測っている。しかも眼で視ているかのような精確さで、この2つの意味で、こうもりは音を、あるいは音によ

シャーロック・ホームズ

って「測っている」のです。「視る」ということを普通の意味よりももっと広く捉えて、「測ることによって情報を得るという行為」だと考えれば、確かにこうもりは音によって世界を視ていると言えるのです。

シャーロック・ホームズ

　　さて、可視光以外の光によって視る動物の例としてマムシを、光以外によって視る動物の例としてこうもりを紹介しました。しかし、彼らほどの精度では無いですが、人間もある程度このようなことが出来ることを、スカウトの皆は知っているはずです。例えばそれは「気配」と呼ばれます。眼をつぶっていても気配を感じることで周囲の状況のある程度推察出来ることは、一昨年に御胎内で開催した2015年BS夏キャンプに参加したスカウトならよく分かりますね？ そこでは石崎BS隊長の指導の下、足音や肌に当たる空気の流れの変化、そしてもしかしたら匂いをも感じ取って、自分の背後から近づく他人の存在を「視る」というゲームをやりました。逆に近づく方は、そのような気配を「消す」やり方を練習したのでした。あるいは、目隠しをして森の中を裸足で歩く「暗夜行路」もやりました。暗夜行路はボーイスカウトでよくやるゲームです。何故これがボーイスカウトの定番プログラムなのか、ここまで読んだスカウトならよく分かると思います。

シャーロック・ホームズ

　　同じ人間でも、ある種の達人は視覚以外の情報を使って、かなり精確に周囲の様子をうかがい知ることが出来ます。例えば武術の世界では「間合いをはかる」という表現がありますね。間合いをはかるときに最も頼りになるのが視覚であることは当然ですが、武人は視覚による相手との距離の情報以外にも五感を総動員し、様々な情報を総合的に判断していると考えられます。その総合的判断はとても複雑なので、なかなか科学的に明快な言葉で表現出来ない。なのでそのような総合的判断のことを「気」とか「第六感」とかいったりするのです。ちなみに、間合いをはかるの「はかる」は漢字で書くとどうなるでしょうか？ 間合いを計る・間合いを測る・間合いを図る・間合いを謀る・間合いを察る… どれか1つだけが正しい、ということはありません。むしろ今挙げたそれぞれの漢字が持つ意味やイメージが全て合わさったものとして、間合いを「はかる」という行為は成されているように思われます。

シャーロック・ホームズ

　　視覚以外の情報を使う別の例として「打音検査」の達人がいます。打音検査とは、建物や鉄道車両の表面をハンマーで叩いて出た音を聴くことで異常がないか調べることを言います。スイカの表面をコンコン叩いて中身の熟れ具合を「視る」ことは皆さんもやったことがあるのではないのでしょうか？ 打音検査を達人に頼るのではなく機械化する試みも行われていますが、いまだ達人は必要とされているようです。実際、ヨットレースの世界大会で使われる日本代表のヨットは、技術者が毎晩ハンマーで叩いて異常の有無を検査しているそうです。

シャーロック・ホームズ

　　人間の中にも視覚（光）以外の情報を使って世界をかなり精確に視る達人たちがいることを紹介しましたが、人間は科学の力によって、光以外の方法で対象をとてつもなく精確に視ることを可能にしてきたことを最後

シャーロック・ホームズ

に紹介しましょう。既にサーモグラフィやレントゲンのことは書きましたが、これらは可視光ではないものの、光によって対象を視る方法であることは我々の眼と変わりませんでした。しかし、例えば電子顕微鏡と呼ばれる実験装置は光を使いません。では何を使うのか？ 文字通り「電子」を使うのです。

シャーロック・ホームズ

　　普通の顕微鏡（これを「光学顕微鏡」と呼びます）は観察したい対象に光を当てます。今まで何度も述べてきたように、光を視る、あるいは光によって視るのが光学顕微鏡です。ここで「光を当てるって言うけど、そもそも光の正体って何だっけ？」と思うスカウトがいるかもしれません。これは説明するのがなかなか難しいですが、ここでは「光子と呼ばれる粒が集まって動くのが光（光線）だ」と思ってください（これは正確な説明ではありません。正確な話は私を含めた誰かに訊くか、ネット等で調べるかしてください）。つまり光学顕微鏡は「光線に含まれている光子という粒を対象に当てたときの跳ね返り具合を調べることで対象を視ている」と（乱暴ですが）言えます。

シャーロック・ホームズ

　　以上のような光学顕微鏡の（乱暴な）説明と比較すれば、電子顕微鏡は次のように説明出来ます。すなわち電子顕微鏡は「電子線に含まれている電子という粒を対象に当てたときの跳ね返り具合を調べることで対象を視ている」のです。今までの表現を使えば、電子を視る、あるいは電子によって視るのが電子顕微鏡ということになります。

シャーロック・ホームズ

　　まとめるとこういうことです。人間が元々持っている眼は基本的に可視光しか、あるいは可視光によってしか対象を視ることは出来ませんが、ここ数百年間に科学を発展させたおかげで、可視光以外の光を利用した観察（観測）はもちろんのこと、電子のような光以外のモノを利用した観察（観測）すらもある種の（実験）装置を使うことで出来るようになったのです。そしてこのような科学の発達による観察（観測）技術の向上は、多くの科学者が「観察や推論を積み重ねて光や電子などの自然現象の謎を推し「察って」いくことで、様々な対象を様々なモノによって「測る」ことを可能にしていった歴史の素晴らしい成果なのです。

シャーロック・ホームズ

（つづく）

ビーバーから始めて10年以上ボーイスカウトを続けてきた中で、私はさまざまな能力を習得してきました。その中で今もっとも役に立っていると感じているのは二つ。一つは勉強面に関して、もう一つは精神面に関してです。今回はそれらについて書こうと思います。

まず、勉強面の能力について。それは「地図の読み取り能力」です。ボーイスカウト活動においては、例えばハイキングや登山をするために、地図の読み取り能力が必要です。私は今までのボーイスカウト活動の中で何度も地図を見てきました。そもそもボーイスカウト活動の中で、生まれて初めてまともに地図を読んだのでした。何度も地図を見ていくうちに、私は地図の読み取りが得意になっていったのです。

そして今、私は大学で地理学を学んでいます。地理学を学ぶ際には、地図を読み取る能力や知識が不可欠です。しかし地図を読み取る能力はすでに十分身につけているので、さほど苦労はしていません。地図の読み取り能力や知識に関しては誰にも負けないと勝手に思っています(笑)。ボーイスカウトで学んだことが将来何かの役に立つということを、今身をもって実感

しています。

次に、精神面の能力について。それは「とにかく諦めない」ことです。これは、ボーイスカウト活動の中でも特にONH(オーバーナイトハイク)を通して手に入れました。ベンチャースカウトの50km ONHは、想像以上に距離が長く、途中で挫折しそうになり、何度もリタイアを考えました。しかし、その辛さから逃げずに歩き続けたことで、結果は良くなかったものの完歩し、仲間とともに達成感に浸ることができました。あの時あっさり諦めていたら、達成感が得られなかったのはもちろんのこと、きっと後悔が残ったと思います。その時から私は、たとえ思わしい結果にならなくても、努力すること、諦めずに続けることに意味があると考えようになりました。そして今に至るまでの考えのもとに、テニスの練習や受験生活を乗り越えてきたのです。

以上の二つのこと以外でも、ボーイスカウトで習得した能力や手に入れた考え方の多くは、普通の生活に活用できるはずで、ボーイスカウトの皆さんも、これまでのボーイスカウト活動を通じて何を学んだのか、そしてそれをこれからの生活の中でどのように活かすことができるのか、一度考えてみてはいかがでしょうか。



会議報告

団会議・団委員会 4月21日(金) 20:00～ 奥沢地区会館第2会議室

★ 各隊報告、及び予定

★ ボーイスカウト講習会 6/4(日) 於) 駒沢小学校

★ 65周年記念キャンポリーについて

RS隊スカウト神田君より開催概要案のプレゼンテーション

・・・大会コンセプト、コアタイム(8/5～8/6)のスケジュール等

実行委員会の立ち上げ・・・実行委員(各隊、育成会、団委員から)

会計監査 4月2日(日) 奥沢区民センター

育成会役員会 4月25日(火)9:00～12:00 等々力出張所まちづくりセンター活動フロア

*総会準備・資料印刷



会議予定

5月13日(土) 育成会総会 13:30～ 九品仏地区会館大広間

5月13日(土) 育成会役員会 総会終了後～ 新旧役員引き継ぎ

5月19日(金) 団会議・団委員会 20:00～ 奥沢地区会館第3会議室